

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 北見睦会	代表者	理事長 新田 洋子	法人・ 事業所 の特徴	法人自体には、北見市内で数多くの高齢者福祉事業を行っている。小規模多機能事業所むつみはグループホームが併設されていて利用者様、スタッフの交流が行われている。法人の共通理念「ゆっくり 少しずつ、自分らしく ありのまま」をかかげ、利用者様を尊重し思いや願いをかなえることができる介護に取り組んでいる。外出が好きな事業所でドライブの機会も多い。地域とのつながりを大切にしている。
事業所名	小規模多機能事業所 むつみ	管理者	上野 泰美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	2人	3人	1人	人	3人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・これからも、自らの目標を設定して出来ている部分と出来ていない部分を振り返り、利用者様のためにより良いサービスが提供できるようにしていく。	年度の後半は目標等を忘れていた部分もあったが利用者様のために設定した内容等も取り組むことができ各々で考える機会となった。	・スタッフの方で問題点を洗い出し、反省、改善でより成果を出すために工夫していることが理解でき素晴らしい。	評価の反省や振り返りを日々、意識して取り組み、利用者様へより良いサービスを提供できるように考えていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・笑顔は利用者様だけではなくご家族、来客者も入りやすい環境になることを理解して、事業所に来客者があったときはいち早く駆け寄り笑顔で対応をしていく。	笑顔で挨拶することを心がけ、来客者に対応することができた。	・笑顔で挨拶してくれています。 ・ちょっとせまいけどな（利用者様） ・臭い等は全くありません ・夜間は鍵をかけないとダメだよ。	防犯の意味で玄関にセンサーライトを設置していく。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域とのつながりを大切にして多くのスタッフが地域（町内会）の行事に参加し、小規模むつみを知ってもらうようにする。	地域行事に参加することで、町内や自治会の方々にも知っていただきけた。	・地域のイベントには参加してもらって自治会は感謝している。 ・年寄りも増えて事業所の認識はあると思いますよ。 ・相談にのってもらい助かってます。	これからも、地域とのつながりを大切にし、地域の方への認識度を上げ、頼られる事業所になるようにしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・独居の方などで、民生委員さんとの連携だけではなく必要性があればその方の地域の方を交えた会議も考えていく。	必要ときは、民生委員さんにご近所さんに見守りの体制をお願いすることを実践した。	・いろいろ出かけています。 ・利用者様の住んでる地域すべてとなると難しいところ・・・	・利用者様をお連れして地域へ出向いていく。 ・必要な場合、端野以外でもご本人様の住んでいる地域の方を交えた会議等も考えていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・今後も運営推進会議では、事業所の取り組みを分かりやすく伝え、意見等があれば顕著に受け止め、相談があれば対応していく。	運営推進会議で事業所に困り事を伝えると意見や、対応を早急にしていただきけた。	・利用者様以外の方の心配な方の事例検討？そうなる個人情報等も気になりますよね。 ・地域での取り組みはもう十分しています。	・今後も運営推進会議では、事業所や利用者様のことを分かりやすく伝え、そこでの意見は取り入れていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・今後も年度はじめには防災計画を示し町内の方々にも知っていただき、避難訓練等に参加していただけるようにすすめていく。</p>	<p>年度の 6 月に防災計画を示すことをした。町内の方々には防災訓練に参加していただき協力体制が整っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練は今年はお出でなかったでしょうか？お出でしているとばかり思っていました。 ・避難場所に指定されている箇所が本当に妥当なのか？ 	<p>・防災への関心を深め、訓練の方法、手順の見直しを行う。(サンドームの中まで入ってみて避難所としてはいかがか？必要であれば、行政や町内会へも伝えていく。)</p>
----------------------------	---	---	---	---

